

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】令和 3 年 11 月 4 日 (2021.11.4)

【公開番号】特開 2020-53955 (P2020-53955A)  
【公開日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)  
【年通号数】公開・登録公報 2020-013  
【出願番号】特願 2018-184798 (P2018-184798)  
【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 D  
H 0 4 N 7/18 K

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 21 日 (2021.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像から検出される物体のサイズの範囲を第一の範囲に設定する設定手段と、  
前記第一の範囲より広い第二の範囲に基づいて、前記画像から前記物体を検出する検出  
手段と、

前記検出された物体のうち、物体のサイズが前記第一の範囲には含まれず前記第二の範囲  
に含まれる物体を特定する特定手段と、

前記特定した物体を示す情報を表示手段に表示させる表示制御手段と、を有することを  
特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記第 2 の範囲は、前記画像から検出可能な全てのサイズであって、

前記特定手段は、前記検出された物体のうち、物体のサイズが前記第 1 の範囲に含まれ  
ない物体を特定し、

前記表示制御手段は、所定の処理の対象外となる物体として、前記特定された物体を示  
す情報を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段は、前記特定された物体を示すマークを前記画像に重畳して前記表示  
手段に表示させることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記表示制御手段は、物体のサイズが前記第一の範囲には含まれる物体を示す情報を前  
記画像に重畳して前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか  
一項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記表示制御手段は、物体のサイズが前記第一の範囲には含まれる物体を示す枠を前記  
画像に重畳して前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 4 に記載の情報処理装  
置。

【請求項 6】

物体のサイズが前記第一の範囲には含まれる物体の数を計数する計数手段を更に有する  
ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の情報処理装置。

**【請求項 7】**

前記設定手段は、ユーザの指示に基づいて、前記第一の範囲を設定することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の情報処理装置。

**【請求項 8】**

前記設定手段は、前記第一の範囲を、ユーザによって指定された、前記画像から検出される物体のサイズの最小値と最大値によって設定することを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理装置。

**【請求項 9】**

前記表示手段によって前記特定した物体を示す情報を表示した後に、前記第一の範囲の変更を受け付ける受付手段を更に有することを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の情報処理装置。

**【請求項 10】**

画像から検出される物体のサイズの範囲を第一の範囲に設定する設定工程と、  
前記第一の範囲より広い第二の範囲に基づいて、前記画像から前記物体を検出する検出工程と、  
前記検出された物体のうち、物体のサイズが前記第一の範囲には含まれず前記第二の範囲に含まれる物体を特定する特定工程と、  
前記特定した物体を示す情報を表示手段に表示させる表示制御工程と、を有することを特徴とする情報処理方法。

**【請求項 11】**

前記第 2 の範囲は、前記画像から検出可能な全てのサイズであって、  
前記特定工程は、前記検出された物体のうち、物体のサイズが前記第一の範囲に含まれない物体を特定し、  
前記表示制御工程は、所定の処理の対象外となる物体として、前記特定された物体を示す情報を前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 10 に記載の情報処理方法。

**【請求項 12】**

前記表示制御工程は、前記特定された物体を示すマークを前記画像に重畳して前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 10 または 11 に記載の情報処理方法。

**【請求項 13】**

前記表示制御手段は、物体のサイズが前記第一の範囲には含まれる物体を示す情報を前記画像に重畳して前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 10 乃至 12 のいずれか一項に記載の情報処理方法。

**【請求項 14】**

前記表示制御手段は、物体のサイズが前記第一の範囲には含まれる物体を示す枠を前記画像に重畳して前記表示手段に表示させることを特徴とする請求項 13 に記載の情報処理方法。

**【請求項 15】**

物体のサイズが前記第一の範囲には含まれる物体の数を計数する計数工程を更に有することを特徴とする請求項 10 乃至 14 のいずれか一項に記載の情報処理方法。

**【請求項 16】**

前記設定工程は、ユーザの指示に基づいて、前記第一の範囲を設定することを特徴とする請求項 10 乃至 15 のいずれか一項に記載の情報処理方法。

**【請求項 17】**

前記設定工程は、前記第 1 の範囲を、ユーザによって指定された、前記画像から検出される物体のサイズの最小値と最大値によって設定することを特徴とする請求項 16 に記載の情報処理方法。

**【請求項 18】**

前記表示手段によって前記特定した物体を示す情報を表示した後に、前記第一の範囲の変更を受け付ける受付工程を更に有することを特徴とする請求項 10 乃至 17 のいずれか一項に記載の情報処理方法。

## 【請求項 19】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載された情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、画像から検出される物体のサイズの範囲を第一の範囲に設定する設定手段と、前記第一の範囲より広い第二の範囲に基づいて、前記画像から前記物体を検出する検出手段と、前記検出された物体のうち、物体のサイズが前記第一の範囲には含まれず前記第二の範囲に含まれる物体を特定する特定手段と、前記特定した物体を示す情報を表示手段に表示させる表示制御手段と、を有することを特徴とする。